

令和4年度 『第2回北杜市生涯スポーツ推進連絡協議会』 議事録

- 1 会議名：北杜市生涯スポーツ推進連絡協議会
- 2 開催日時：令和5年3月20日（月）午前10時～午前11時
- 3 開催場所：北杜市役所 西館2階会議室
- 4 出席者  
（委員）8名  
（事務局）4名
- 5 議題：
  - 1）生涯スポーツ推進計画について
  - 2）その他
    - ・令和4年度実施事業及び令和5年度実施予定事業
- 6 公開・非公開の別：公開
- 7 傍聴人の数；0人
- 8 審議内容：
  - 互 礼—
  - 会長あいさつ—
  - 議事—

（事務局より議事内容について議案1について説明）

委員：スポーツに関わる人が減少している。高齢者の中でも、若い年齢の方がスポーツを行わない傾向にある。若いころからのスポーツへの取り組みが高齢になってもスポーツを続ける習慣になっていると感じる。

委員：オリンピックが開催され、障害者スポーツの機運が高まったと思う。本市でも推進を図っていくための検討が必要となる。学校部活動の地域移行についても検討が必要となる。

委員：国より移行をするように指示を受けているが、ルールが定まっていないので動くことができない。学校自体が少人数化してきており、部活動が行えず、子供がスポーツをする機会がなくなっている。場所の確保、移動、新たにチームを作るのが今後の課題である。

委員：地域移行については、以前は積極的であったが、令和5年度は少しトーンダウンしてきている。県内は移行の動きは活発でないと感じる。韮崎市が組織を立ち上げたが、課題として指導者の確保に苦慮している。本市は今後の学校配置を決めることが優先である。

委員：部活動の地域移行については、八田中と橿形中が県のモデル校として実施された。指導者の確保、安全確保の観点から教員の負担が減ることはなかった。令和5年度は改革集中期間として達成目標は設けられていない。

委員：学校のみで動いても実現は不可能である。地域が主体になること、行政が指導者を確保することが必要になる。全種目を一斉に行うのではなく、種目を限定して一部の競技から進めていくことが重要である。競技力のみでなく、ニュースポーツへの取組みも検討していく必要がある。少子高齢化が進んでおり、世代を超えて一緒にスポーツができるような環境が求められていると感じる。

委員：小さいころからのスポーツへ取組むことが、生涯にわたりスポーツを続けるために必要となる。ただ、小学生のころはスポーツに取り組んだが、中学校に部活動がなく、スポーツを辞めてしまう子どもがいる。また、家庭の事情でスポーツができない子供も存在している。

—議案について異議なし—

(その他について事務局より説明)

—議案について異議なし—

—互 礼—

—終 了—